

広域シルバー まつもと

第111号

令和3年1月15日号

(公社)松本地域シルバー人材センター

会報編集委員会

松本市宮渕本村1番10号

TEL.39-6680 FAX.39-7788

URL:<http://www.matumoto-sjc.jp/>

E-mail:matumoto@sjc.ne.jp



丹誠こめて育てたふじの収穫に励む会員の皆さん(シルバーりんご園にて)

令和2年度シルバー人材センター安全標語入選作品

【長野県シルバー人材センター連合会 佳作】

“ 事故の芽を 摘むはあなたの目と心 ”

福島 恵子 会員

【松本地域シルバー人材センター最優秀賞】

“ 「任せとけ」 慣れた作業に事故潜む ”

横谷 順三郎 会員

伝統の門松づくり

門松班では、伝統のものづくりを後世に伝承したいという思いから門松を作り、地域の皆様に期待され好評をいただいています。材料に竹、松、杉、南天を利用しているため年々入手が難しくなっています。このため作ることのできる門松が年々少なくなっていますが縁起物の門松で、明るく景気の良い年になることを願いながら作成しています。



門松作りに忙しい熟練の門松班の皆さん

年頭のあいさつ

理事長 青木 敏和



新年あけましておめでとうございます。

例年とは異なるものの、まずは健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍の未曾有の一年であり、今までの日常が一変するという状況でした。

経済への影響は甚だしいものがありますが、幸い当センターの実績額は5%ほどの減と、他のセンターよりも影響は少なく、これも

各会員のご尽力によるものと感謝申し上げます。

しかし、仮にコロナ禍が終息しても、今回見直された社会の在り方などはそのまま続くと思われる、また国の財政も大きな影響を受けており、様々な社会保障制度等の変更も予測されます。

このようなかで、時代に即したシルバーの目指す方向を試行していくため、皆様のご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



松本市長 臥雲 義尚



あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

シルバー人材センターの活動を通じて、地域社会の担い手として多大なる貢献をされていることに、深く敬意を表します。

松本市の高齢化率は年々上昇し、少子高齢化が今後も進んでいきます。高齢者の皆様が、自

山形村長 本庄 利昭



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナウイルス感染症の拡大により、シルバー人材センターにとっても多難な年であったと推測いたします。

会員の皆様には少子高齢化の進む中で、豊富な知識や経験、

らの知識や経験を活かし、シルバー人材センターの就業を通じて、人と人との絆づくり、健康づくりに取り組むことは、地域の持続と活性に寄与することであり、その役割はますます重要になっていくと考えます。

会員の皆様が生涯現役として活躍していただけるよう、松本市も継続して支援していきたいと思えます。

結びに、シルバー人材センターのさらなる飛躍と、会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

技能を生かし、行政や地域社会で貴重な役割を担っていただいておりますことに敬意を表し深く感謝を申し上げます。

シルバー人材センターの目的であります、健康増進、生きがい活動の充実、地域社会への貢献などの達成に向けて、今後ともご活躍いただき、会員の皆様、ご家族が健康でお過ごしされると共に、松本地域シルバー人材センターの更なる発展とご活躍をご祈念申し上げます。

地域社会に貢献 一斉奉仕活動

10月の全国シルバー人材センター事業啓発月間に合わせて、8月28日の西部地区を皮切りに10月にかけてそれぞれの地区25か所で、公共施設等の除草や清掃作業などの奉仕活動を行いました。
 今年はコロナ禍の中での実施ということで、密集をさけマスク着用などの感染防止策を講じながらの作業となりました。

感謝された奉仕活動



花岡 武司
 (里山辺地区)

コロナ禍の中、東部ブロックの申し出を快く受けていただいた清水中学校に感謝しつつ、10月29日に約40名が集合しました。
 担当理事から活動の趣旨、目的



清水中学校周辺を清掃する会員のみなさん

等を含む挨拶と作業指示をつけました。生垣の剪定作業など三つの班が自然と出来上がり「さすが皆場慣れしているな」と感じました。
 作業は約2時間でしたが「一人では大変な作業をやってもうって有難かった」との先生の言葉に私達は「やって良かった」と気持ちよく散会しました。改めて今年は中止の話も出る中、本部が是非何某かの奉仕活動をしてほしいと言っていたことの意義が分かったように思いました。

地域の拠点を美しく



矢田 順一
 (山形地区)

いろんな集まりが自粛傾向にあ

山形村「いちいの里」での清掃作業



る中で、今年度も10月に「いちいの里」と「建部の里」という公共施設2か所で、除草作業等を中心を実施しました。どちらも地域の保健福祉関係の拠点施設であり、当地区の会員も常日頃かわりの多い場所でもあります。

コロナ禍の影響で、参加者の数も心配されましたが、当日は多くの参加をいただきました。お互いにマスクをつけ、密を意識しながらの作業にはなりましたが、近況を語りながら、気持ちよく作業を進めることが出来ました。

地区懇談会に参加して



櫻井 貞文
 (今井地区)

今井地区の懇談会は、11月26日に当地区の公民館において、会員20人中15人が参加し開催されました。短時間ではありましたが、会員の高齢化が進む中、会員の拡大や安全就業、ICTを活用した情報化の促進などの取組みについて認識を共有することができました。ただ、この機会に地域班の親睦を深めるため、例年行っている会員手打ちの蕎麦を味わう蕎麦交流会が出来なかったことは大変残念でした。

合同地区懇談会開催日程

<会場はいずれもセンター会議室>

日 時		ブロック名
1/26 (火)	10:00~11:00	東部
	13:30~14:30	中心部・北部・山形
1/27 (水)	13:30~14:30	北西部・西部
1/28 (木)	10:00~11:00	南西部
	13:30~14:30	南東部

※書面会議での実施地区は除く

大好評、庭木・庭園管理講習会 シルバーへの入会に期待

県シ連との共催による「庭木・庭園管理講習」を一般の方を対象に10月上旬から開催しました。

日本造園組合連合会の会員を講師に両島浄化センターなどの会場で、松、梅をはじめ生垣等の剪定整枝の技能を学びました。



剪定方法を熱心に学ぶ受講者の皆さん

この講習には予定した定員の倍以上約50人の応募をいただき、急遽定員を大幅に増やし、回数を2回にして実施したものです。

10月に受講できなかった方の要望に応えるため、翌11月には第2回目を開催しました。

受講された多くの方からは、実践的な内容でわかりやすく今後庭木等の手入れに生かしたいとの声が聞かれ、早速シルバーに入会された方もおり、剪定班での活躍が期待されます。

当センターではこのような機会を通じて、会員のさらなる拡大に取り組んでいます。

スマホ教室で 苦手なスマホが使えるように！

10月から本格的に始まったスマホ教室とZoom教室が人気です。スマホ教室では、基本操作からスマホへの音声入力の手引きや方等を学び、スマホでの支払いや道案内等のアプリを上手に使えるようになるまで、何度でも個人指導を受けられます。

また、Zoom教室では、コロナ禍でも親子、孫、親戚等との遠隔ビデオ通話を楽しむこと



ふじの葉摘みに精を出す会員の皆さん

一年の努力が実を結びました

晩生種ふじの収穫を迎え、昨年10月中旬に梓川地区の約35アールのシルバーリング園で葉摘み作業が行われました。たわわに実ったリンゴにまんべんなく日を当てることで、色づきをよくするため、実のまわりの葉を取り除く作業ですが、手慣れた会員さん達により手際よく進められました。

今年はこれといった大きな自然災害もなく、たずさわった会員の努力が実を結び、11月には出来栄の良いふじの収穫を迎えることが出来ました。



個人指導で操作を学ぶ受講者の皆さん

です。是非お気軽に、まずは相談してみてください。

働く会員さん紹介

●岡田地区 百瀬 幸子

コロナ禍ならではの

消毒作業に従事



シルバー人材センターで、新しい自分を見つけ、さらに超高齢化時代に突入している日本の救世主になる？こんなコロナ禍の中、仕事より大切なこと高齢者の雇用の安定に活躍する場があるということ、うれしい限りです。

仕事がしたいというニーズがあり、しかもそれは普通の仕事だけではなく社会貢献したいというある意味レベルの高いニーズです。仲間や社会との繋がり、しかも地域との繋がりを大事にする活動です。自分の能力を生かして仕事ができることに感謝です。

やりがいを感じ、笑顔で明るく挨拶。今まで全く見えなかったものが見え、人生観が変わってくる

よつな気がしました。

これからもキャリアを生かすよう努力して参りたいと思います。

●里山辺地区 片桐 美知子

働くことが生きがい

50代よりシルバー人材さんには興味を持っていました。何か人様の役に立てたら、そんな仕事が出来たらいいとずっと考えており、その精神がシルバー人材さんの中にある事を知って、これだ！という昨年2月に入会しました。

5月から、障害者就労施設での



会員からこも巻きの手ほどきを受ける児童

小学生に「こも巻き」の手ほどき！

波田小学校敷地内のアカマツ林で、昨年暮れに当シルバー会員が6年生児童に「こも巻き」の指導を行いました。越冬する害虫を駆除するための恒例の作業ですが、手慣れた会員の教えを受けながら、児童らが約40本の木の幹に稲わらの「こも」を丁寧に巻きつけることができました。普段の授業では体験できないものに楽しそうに取り組む子ども達の姿が印象的でした。



お掃除の仕事を紹介していただいていたいます。4月に主人を病気で亡くした私にとって、心のささえになったお仕事を紹介いただきました。就業先の施設の方達も明るい人達で、その中で働くことが今の私の生きがいになっています。これからも頑張っていけます。

作品展を開催して

第13回シルバーまつりは感染症防止対応で中止となりましたが、互助会サークル（写真・表装・てまりの会・滴の会の4サークル）では会員の力作を公開いたしました（11月13日～20日）。感染症防止対策を積極的に取り組みながらも、日頃作品づくりを続けた会員の元気な様子をご覧いただきました。

シルバー人材センター事務所の一室をお借りしての展示会でありましたが、皆様にご覧いただき感謝いたしております。

（互助会 島村 公章）



シルバー事務所に展示された作品

会員のお仕事、

警察署から感謝

昨年7月に、当シルバーの女性会員お二人が松本警察署から表彰を受けました。

感謝状をいただいたのは田川の斉藤キヨコさんと鎌田の石丸直子さんです。共に長年にわたり松本警察署の清掃業務に携わってきました。この度お二人の丁寧で行き届いた仕事ぶりなどを署員から改めて感謝されたものです。

受賞はシルバー会員としても名誉なことであり、ますますのご活躍が期待されます。



感謝状を受けた石丸さん(右)と斉藤さん

● 配分金支払日 ●

12月分	1月15日(金)
1月分	2月15日(月)
2月分	3月15日(月)
3月分	4月15日(木)
4月分	5月18日(火)
5月分	6月15日(火)

配分金支払証明書送付

令和2年分「配分金支払証明書」を対象者に送付しました。

配分金収入は、所得税法上「雑所得」に区分されます。所得の内容および所得額は、個々に違いがありますが、まず、申告の際は、税務署職員に相談してください。



令和3年の祝日について

令和3年に限り「海の日」は7月22日に、「山の日」は8月8日に、「スポーツの日」は7月23日になります。シルバーのカレンダーの修正をお願いします。

特定健診を受けましょう

安全就業は健康な体と良い体調で作業することで達成されます。

特定健診を利用し、健康の維持に努めましょう。



< 令和2年度事故発生状況 >

(9月末現在)

事故の種類	事故の内容	件数
傷害事故	清掃作業準備中、合成樹脂製の敷板の上で滑って転倒し手首を骨折 他4件	5
賠償事故(物損)	刈払い機での除草作業中に小石が飛び、隣接する建物の窓ガラスを破損 他5件	6
交通事故(就業中)	草を軽トラックに積み込むため車を移動させた際、後方確認を怠り相手車両に衝突	1

※この時期、路面凍結にも十分ご注意ください。

事故ゼロを目指しましょう

お悔やみ申し上げます

七月十五日

山下一男さん(梓川梓)

九月十六日

林 保男さん(鎌田)

十一月十二日

橋倉 正人さん(庄内)



いまだに新型コロナウイルスの感染者数は日本はおろか世界中で増え続けているという、思いもなかった状態になっていますが、その効果が期待されているワクチン関連の報道も増えてきている昨今です。松本市周辺での感染者増などのニュースも気になるころですが、気を緩めることなく、一層の気配りをしつつ作業を行いたいと思います。

いつも頭に入れていることは、信頼される仕事をしているだろうか、ということですが、また、安全に充分気を配るのはもちろんのことです。

会員増も念頭におき、シルバー人材センターの発展に、何をしたらよいかを考えながら、作業をしていくつもりです。

(会報編集委員 白井)